

呉羽駅北口改札の新設について

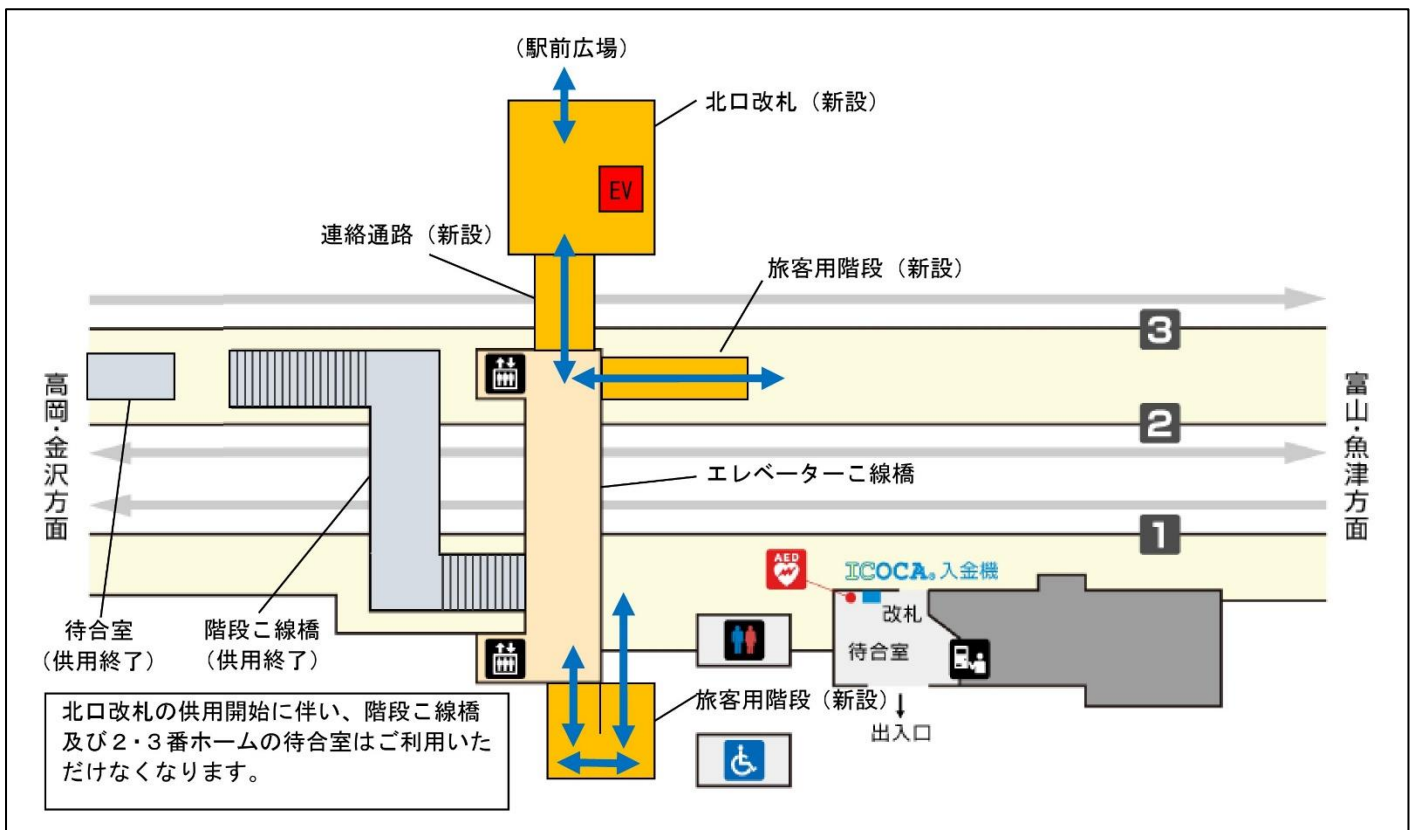
1 経緯

呉羽駅の北側地区（約 24.8ha）が 2016 年 8 月に市街化区域に編入され、住居系を中心としたまちづくりが進み、駅北側地区からの利用の増加が見込まれることから、利便性の向上や利用促進のため、富山市の駅周辺整備事業と連携して、呉羽駅に北口改札を新設しました。

2 北口改札の概要

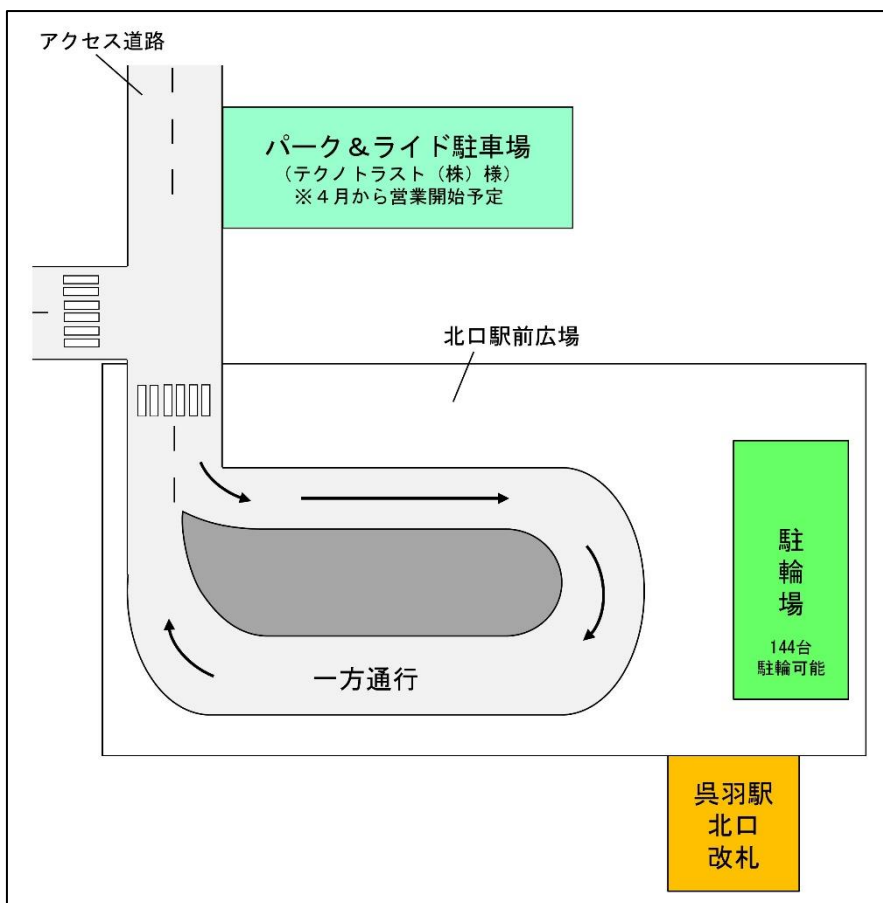
- ・エレベーターを 1 基設置
- ・IC簡易改札機、自動券売機及び待合スペースを設置（無人改札）
- ・北口改札は連絡通路で既存のエレベーターこ線橋に接続
- ・北口改札の整備に併せて、既存のエレベーターこ線橋に 1 番ホーム及び 2・3 番ホームへの旅客用階段を設置
- ・駅利用者の移動経路が変わることから、2・3 番ホームの列車停車位置を富山方に移動

【呉羽駅平面図】



※既存の階段こ線橋と 2・3 番ホームの待合室は 3 月 22 日（金）からご利用いただけなくなります。

【北口駅前概略図】



※北口駅前広場及びアクセス道路は富山市で整備されました。詳細については富山市活力都市創造部都市計画課（TEL：076-443-2243）までお問い合わせください。

3 事業費

約7億円（北口改札の詳細設計及び工事）

※北口改札の整備は、富山市からの補助の他、エレベーター等のバリアフリー設備の整備費用を対象とする国の補助を受けて実施しました。
また、バリアフリー設備の整備費用の一部について、富山県から富山市に対して補助金が交付されています。

【設置の経緯】

| | |
|---------|-----------------------|
| 2016年度 | 富山市地域公共交通網形成計画策定（富山市） |
| 2019年度 | 基本設計 |
| 2020年度 | 詳細設計 |
| 2022年度 | 工事（2022年8月～） |
| 2024年3月 | 工事完成、供用開始 |

4 その他

呉羽駅北口改札の供用開始に先立ち、2024年3月16日のダイヤ改正において、朝の一部の列車の運転区間を富山駅発から呉羽駅発に延長しました。

- ・529M「富山駅 6:49 発 泊駅行き」を「呉羽駅 6:42 発 泊駅行き」に延長
- ・531M「富山駅 7:09 発 泊駅行き」を「呉羽駅 7:02 発 泊駅行き」に延長